

1	研究名	原発性肝細胞癌のソラフェニブ治療における肝perfusion CTの有用性の検討
2	目的	原発性肝細胞癌のソラフェニブ治療における肝perfusion CTの臨床的有用性を検討する。
3	対象	抗癌剤治療を行われており、かつガドキセト酸ナトリウム造影MRIが行われた患者。
4	期間	平成29年度末まで
5	担当	放射線診断科 中村 優子
6	個人情報に関する考え方	匿名化、コンピュータ上でのパスワード設定などを講じることで、個人情報が漏れることがないように留意します。
7	発表	学会、誌上で発表を予定していますが、個人の特定できる形の発表はありません。